

「市長記者会見」の概要

■日時 令和3年6月28日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、読売新聞、長野市民新聞

■質疑応答

【日本遺産「月の都 千曲」シンボルマーク決定】

問 シンボルマークの選考は、市内の中学校、高校の生徒の投票で決定されたとのことだが、具体的な投票状況は。

回答 市内4つの中学校と付属中学校、2つの高校で、2種類のシンボルマーク候補から生徒の投票により決定した。決定したシンボルマークは88.6%の賛同を得ました。最終的には推進協議会で決定した。

問 5つの中学と2つの高校で、何人くらいの生徒が投票したのか。

回答 全体で2,417人が投票し、2,141人が今回決定したシンボルマークに投票した。

【第7回千曲川ハーフマラソンの開催中止について】

問 代替イベントの内容と時期は。

回答 現在検討中だが、昨年と同様にハーフマラソンのコースを走っていただくような代替イベントを計画したい。時期は冬の時期の前までに開催したい。

【プレミアムハーコット「杏月」の販売開始について】

問 プレミアムハーコット「杏月」の出荷量も例年の4割程度ということで良いか。

回答 プレミアムハーコットだけではなく、全ての杏の出荷量が例年の4割程度を見込んでいる。

問 「杏月」は例年どのくらいの出荷量か。

回答 昨年が約200玉で、一昨年は約1,800玉。今年は昨年よりは多いが、正確な数は現時点では不明。

【シェアサイクル社会実験の実施について】

問 社会実験の具体的な調査内容は。

回答 各自転車に内蔵されているGPSを使い、どのような利用がされるか調査する。また、専用のアプリをダウンロードし会員登録するため、年齢層や男女別、市外または市内の人の利用状況を調査し、需要がどの程度あるのか検証を行い、本格導入に向けた資料としたい。

問 7月から12月までの約6か月間の実施となっているが、その後の展開で自転車を活用した施策等は考えているか。

回答 市では自転車活用推進計画を策定し、自転車の積極的な活用を推進している。例えばサイクルステーションの整備や県のサイクリング道路の整備、公園へのトイレの整備等を考えている。市民や観光客が千曲市の風を感じていただけるような取り組みを進めていきたい。

問 月額会員は月額 1,650 円で 1 回 30 分まで無料とあるが、1 回会員の 30 分 110 円となることから、16 回以上利用すると得になる計算ということで良いか。

回答 そのとおり。通勤、通学等で、例えばサイクルポートのある戸倉駅から屋代駅まで、屋代駅から市役所まで利用し、その 1 回の利用時間が 30 分以内であれば月額料金のみとなる。

問 市の職員の利用も考えているか。

回答 カーボンニュートラルや SDGs の推進のため、職員の通勤の足としての活用も前向きに検討したい。

問 上田市も併せて実施とあるが、シェアサイクルは千曲市のみの利用ということで良いか。

回答 上田市と千曲市で同じシステムを使用しているため、両市での利用が可能。

【64 歳以下の人の新型コロナワクチン接種について】

問 基礎疾患の有無についての把握方法は。

回答 基本的には自己申告となる。

問 ウェブ予約の仕組みは。

回答 市のホームページから予約ができるシステムを考えている。

問 個別接種は 8 月以降で調整中とのことだが、集団接種は高齢者接種と同様に今までの会場を継続するということが良いか。

回答 集団接種の会場は現在調整中。

問 早期接種の対象者である保育士や小中学校教職員等への接種券の発送時期は。

回答 早期接種の対象者へは、60 歳から 64 歳の人への送付と併せて接種券を発送する。また、職域接種や大規模接種会場での接種を希望される人には、連絡いただければ早期に接種券を発送する。

問 接種完了時期の見込みは。

回答 国からのワクチンの供給量によって左右されるが、県が 11 月末までの接種完了を目指していることから、それに伴うワクチンの供給がなされれば、11 月末までに接種が完了できるような体制を整えていきたい。

【市政全般について】

問 日本遺産については本日シンボルマークの発表があったが、一年を振り返り観光誘客にどのくらい繋がったか。今後どのように観光誘客に繋げるのか。また課題は。

回答 昨年度はコロナ禍の中で、慎重に事を進めすぎた感がある。今年度からは、課題が山積している状況ではあるが、できる限りスピード感をもって観光誘客につなげる施策を進めたい。今回のシンボルマークの決定により「月の都 千曲」を市内外に発信するツールができたと感じている。市内でも日本遺産に認定されたことを知らない人もいることから、シンボルマークの決定を機に認知度を向上させていきたい。

また、シェアサイクルについても、同じく日本遺産に認定された上田市と広域で連携し推進していく。4 月から専門の部署として日本遺産推進室を設置し、日本遺産センターも 9 月以降にレストランがオープンする予定となっている。新型コロナウイルスの収束後を見据え、トップセールスを行う等、ギアを上げて進めたい。

問 県立高校の再編で、旧第4通学区の協議会でもパブリックコメントが始まっている。改めて屋代南高校の高校再編についての考えは。

回答 屋代南高校は市内に2つある高校の1つで、地域に根差してきた歴史と伝統のある高校であり、千曲市にとってなくてはならない高校。高校再編の考え方は様々だが、存続に向け、市としても全力で支援していく。

問 市長が公約で掲げた（仮称）市民の声を聴く会の進捗状況は。

回答 市長と語ろう「お出かけシェアトーク」として8月から実施予定。これはテーマを決めて関係する団体等と意見交換を行うもの。8月は「子育て世代目線でまちづくり」、9月は「若者が目指すまちづくり」、10月は「地域住民と外国人の国際交流」、11月は「千曲市の将来の農業」、12月は「地域で子どもを育むまちづくり」の5つのテーマを予定している。また、他のテーマを希望する団体等があれば対応したい。

問 募集はいつからか。また開催場所は。

回答 7月市報に併せ全戸配布を行い、申し込みを受け付ける。
開催場所は未定だが、各種団体等の皆さんの所へ出向いて行う。

問 副市長の人選についての市長の考えは。

回答 千曲市の現状を良く理解されている人で、私が民間出身であることから行政経験が豊富な人をお願いしたいと考えている。

終了 午後2時16分